

個人質問

議会事務局
処理欄

令和5年2月16日 8時44分 受付
質問順位 第13番

武豊町議会議長 石原 寿朗 殿

武豊町議会議員 青木 信哉

一般質問の通告について

令和5年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. 武豊町の温室効果ガス削減への取り組みについて</p>	<p>【趣旨説明】 2021年10月、政府は地球温暖化対策推進法に基づく地球温暖化対策計画を改訂し、2030年までに温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減を目指し家庭部門では66%削減する事としました。 武豊町は温室効果ガスを排出する事業者として、自らが行う事務・事業に関して伴う温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止に向けた取組を一層推進するために「武豊町地球温暖化対策実行計画書(事務事業編)」を平成15年度に策定し温室効果ガスの削減に取り組んできました。第3次実行計画(平成24年度から平成29年度)では基準年度の排出量から削減しましたが目標を達成することはできませんでした。来年度は第4次実行計画(平成31年度から令和5年度)の最終年であり、また令和3年2月2日、将来にわたって健康で安心して暮らすことができる環境を次世代へ引き継いで行くため、住民・地域・企業・行政が一体となって、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言しました。そしてこの状況を踏まえ新たに令和4年3月に「武豊町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定しました。本計画の目標は2030年度に2013年度比44%削減で、2050年ゼロカーボンに向けた見通しをつけるためのものとしています。粉山町長は令和5年度予算編成方針で第6次武豊町総合計画のまちづくりの目標の7の「環境にやさしいまち」の中で2050年ゼロカーボンシティの実現を目指し、地球温暖化対策実行計画に基づく取り組みを進めるとしています。そこで以下質問します。</p> <p>【質問事項】</p> <p>① 武豊町地球温暖化対策実行計画書(事務事業編)における全体目標とその達成度合いは。 ② 本町の温室効果ガスの排出量の特徴は ③ 令和5年度に温室効果ガス削減に向けた取組として計画している施策は何かあるか。 ④ 住民が取り組むことで温室効果ガス削減につながる行動にはどのようなものが有るのか ⑤ 2030年度の目標達成には企業の取組みが欠かせないと考える、企業への働きかけは何を考えているか。</p>